大阪地区

平成29年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員350名
申込先着順

会場 ドーンセンター
(大阪府立男女共同参画・青少年センター7Fホール)
〒540-0008　大阪市中央区大手前1-3-49
Tel.06-6910-8500

日時 平成29年 10/18(水) 13:00～16:50

13:00～13:10 **開会の辞**
一般社団法人 日本橋梁建設協会
副会長　吉﨑　収

13:10～13:25 **橋建協報告**
～協会を取り巻く環境と課題、取り組みについて～
広報委員会

第1部:技術発表会

13:25～14:05 1.道路橋示方書はこう変わる
～部分係数体系版の改定内容～
設計小委員会　設計部会　金子　修

14:05～14:15 休　憩

14:15～14:55 2.大支間鋼単弦ローゼ桁の送り出し架設
～送り出し支間147mの鋼・PC混合3径間連続アーチ橋の架設～
架設小委員会　架設部会　村岡和郎

14:55～15:35 3.イズミット橋の工事報告
～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～
海外事業委員会　關　真二郎

15:35～15:45 休　憩

第2部:特別講演会

15:45～16:45 ツタワルドボク
ー技術者が自ら伝える。想いは伝わる。
土木が新たな価値になる。ー

㈱特殊高所技術　執行役員
片山　英資

16:45～16:50 **閉会の辞**
橋梁技術発表会 実行委員会
委員長　上原　正

申込方法　ホームページ(URL) http://www.jasbc.or.jp/
の「技術発表会申し込み受付け」まで
(受付は平成29年9月6日～10月4日)

申込期限　平成29年10月4日(水)

連絡先　一般社団法人 日本橋梁建設協会 近畿事務所
〒550-0005 大阪市西区西本町1-8-2　三晃ビル5階
Tel. 06-6533-3238

継続教育　CPDS認定予定

他地区
東京地区は　10月13日(金)　銀座ブロッサムホール
中部地区は　10月27日(金)　東建ホール
北海道地区は　11月 2日(木)　北海道経済センター
東北地区は　11月10日(金)　仙台国際センター
九州地区は　11月17日(金)　レソラNTT夢天神ホール
にて開催です。
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)は、当日配布をしておりません。ホームページに掲載しますので、各自ダウンロードして持参して下さい。(PPTの出力は当日配布します)

アクセス

●京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通って1番出口より東へ約350m。
●地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
●JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

主催: 一般社団法人 日本橋梁建設協会 Japan Bridge Association Inc.　http://www.jasbc.or.jp/

大阪地区 技術発表会概要

1 道路橋示方書はこう変わる

～部分係数体系版の改定内容～

道路橋示方書が5年ぶりに改定となり、その内容も現行の許容応力度法から部分係数法へと大幅な変更とる。そこで、おもな改定内容や留意点について具体的な設計例を交えながら分かり易く説明する。

2 大支間鋼単弦ローゼ桁の送り出し架設

～送り出し支間147mの鋼･PC混合3径間連続アーチ橋の架設～

本橋は、新名神高速道路　四日市JCT～亀山西JCT（仮称）間の路線に建設される橋長325mの鋼･PC混合3径間連続アーチ補剛箱桁である。

現地は、二級河川朝明川上を横断する国道365号バイパスの上に位置する条件から、中央径間の鋼単弦ローゼ部を夜間通行止めの交通規制を伴う、送り出し工法および降下により施工を行った。施工における問題点および対処法として、送り出し支間147mに対する手延べ機先端のたわみ量は約6mとなるため、たわみ処理作業にかかる夜間交通規制時間への影響が懸念された。対処法として送り出し支間内の道路上に多軸台車を用いた一夜ベントを設置し、手延べ機のリフトアップを行うことによりたわみ量および到達時の処理時間の減少を図った。

3 イズミット橋の工事報告

～上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設～

2016年7月、世界有数の地震地帯であるトルコに世界第4位の長さを有するイズミット湾横断橋（正式名称:オスマン･ガーズィー橋）が開通した。本工事は上下部一括のデザインビルドであり、海底40mの軟弱地盤への海中主塔基礎の設置など厳しい条件の中、わずか施工期間3.5年で開通にこぎつけた。発表では、耐震性の確保と短納期での完工を両立させた構造上、施工上の工夫などについて紹介する。

特別講演会 講演者紹介

ツタワルドボク

ー技術者が自ら伝える。想いは伝わる。土木が新たな価値になるー

片山 英資　㈱特殊高所技術　執行役員

ー略歴ー

1996年　九州工業大学 工学部 設計生産工学科 卒業　学士（工学）
1996年　株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 入社
2005年　福岡北九州高速道路公社　入社
2017年　株式会社 特殊高所技術 執行役員（現在に至る）
2017年　一般社団法人 ツタワルドボク 代表理事（現在に至る）

ー学会及び社会活動ー

2007年～　一般社団法人 九州橋梁･構造工学研究会（KABSE）:
　運営委員（講習会講演会委員会）（現在に至る）
2010年～　福岡スマートドライバー:代表（現在に至る）
　※市民主体型の交通安全推進団体･事故ソフト対策
201年2～　九州アジア経営塾　碧樹会:交流推進部長（現在に至る）
2015年～　土木学会:鋼構造委員会
　鋼構造物の防食性能の回復に関する調査研究小委員会（幹事）
　（現在に至る）
2015年～　JCI:コンクリート診断士委員会（現在に至る）
2015年　高校生のための日本の次世代リーダー養成塾
　ハイスクールサミット企画･運営
2016年～　九州産業大学 工学部:非常勤講師（現在に至る）
2017年～　NPO日本スマートドライバー機構:理事（現在に至る）

講演概要

土木は、あたりまえに訪れる毎日の暮らし、そして未来を創り、守り続けている。公共事業は歴史的に「公と共に」実施されてきた。しかし、いつの間にか税金を使って「公務員と土木業界が勝手にやる事業」だと思われている。一人でも多くの土木技術者が土木の意義と魅力を誇らしげに語り、確実に伝わったなら、土木は公と響き合う「公響事業」に変わるだろう。技術の向上に日々努力している土木技術者たちと、共に学び、共に伝える挑戦を考える。

平成29年度

10月18日（水）

橋梁技術発表会

［大阪地区］

参加申込方法

一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

http://www.jasbc.or.jp/

「技術発表会」
の申し込みはこちら。